

第四十二号

さわやか十期会会報

令和三年七月発行

東京オリンピック聖火ランナー

堀田 昭

東京オリンピック聖火ランナーの募集を新聞で見付け、直ちに応募しましたが、選考されるとは全く思わず驚いてしまいました。聖火ランナーの要件は200mを2分で走る事です。しかし、熊本走ろう会を引退して10年も経っている自分に、そんな体力があるかなと不安になり、早速練習を始めましたが、不安は的中し心臓が破裂しそうになります。93歳は正直です。幸いにオリンピックは1年延期となり、スポーツジムのお世話になって、やっと走れる様になり、5月5日水俣市エコパーク水俣を走る事が出来ました。当日は横浜に居る子供達が孫や曾孫に加えて、山の仲間達も大勢応援に来てくれました。有難い事です。感謝あるのみです。これに応えるために、来年95歳になりますので、第50回ホノルルマラソンに出場し、9時間5分を完走時間の目標にして頑張ろうと週3回ジムに行っています。オリンピックマラソン選手は2時間少々で走るのに、末期高齢者は『遅い貴方は主役です』に徹したいものです。ホノルルの青天が待っています。



さわやか10期会会員の皆様へ

さわやか10期会事務局

井 康 二

会員の皆様には、お変わりなくお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年のコロナの騒ぎから1年半が過ぎましたが、未だに収束の気配もなく、月日がやたらと過ぎていっています。また、間近に控えています東京オリ・パラの開催の話題も急を要しています。

一方、我々のさわやかの活動も1年半以上ストップしており、皆さんとの会合もままならず、また、日常生活にも支障を来しております。

今月は、会報の発行月でもあります。皆様方に原稿依頼するのも気が引ける有様です。こんな中、唯一明るいニュースと言えば、我が10期会の会長である堀田さんが、去る5月5日に東京オリンピック聖火ランナーとして水俣市を走られたことです。当日、私もテレビを食い入るようにして観戦しました。堀田さんをお願いをして手記を寄せて頂きましたのでご披露をしたいと思います。

さわやか連絡協議会の方も、今まで何の動きもありませんでしたが、やっこのことで、9月早々に総代会開催の案内が来ました。その総代会を受けて10期会もそろそろ活動を開始しようかと思っています。そういう事も踏まえ、休止状態から目覚めたいと思い、皆様には、是非10期会のメンバーを継続して欲しいと念願しておりますが、体調不良とかご家族の関係とかでやむを得ず、退会せざるを得ない方もおありかと思い会員各位に、過日、電話で確認したところ、殆どの方が10期会会員として、継続していただくようになり一安心です。

この2年間、殆ど10期会としての活動もなく、会員の皆様にこれと言った報告もなく事務局失格ですが、コロナ禍にかまけてお許しを願い、涼しくなったら活動を再開したいと思っておりますので、今暫くの猶予をお願いします。

今回は、堀田さんの明るいニュースとお願いごとだけになりましたが、とりあえず会報第42号として発行させていただくことをお許し願いたいと思います。